

FOCUS

「フォーカス」

特集 2023会頭公式訪問 2023.6 Vol.02

2023年度日本青年会議所 麻生会頭の訪問。
「リーダーとしてあるべき姿」、会頭が考える
リーダー像とは!?



一般社団法人淡路青年会議所 第61代理事長 伊山 真司

理事長雑感.

Greetings from the New Director

青年会議所にある様々な機会と向き合っていこう。

一般社団法人淡路青年会議所(以下、淡路青年会議所)の広報誌「FOCUS」をご覧いただきありがとうございます。心より厚く御礼を申し上げます。

先日、台風2号や活発な梅雨前線の影響で、西日本や東日本、全国各地で激しい雨が降り続き、記録的な大雨に見舞われました。近年では、短時間に狭い範囲に激しく降る雨も多く、人々の生命が脅かされるような自然災害が、頻発しています。淡路島でも、多方向で大きな影響があったとうかがっており、今後は淡路青年会議所でも防災・減災について深く考えていくことも必要ではないかと感じた次第であります。

さて、本誌に掲載しております各事業を振り返りますと、まずは2月例会「切磋琢磨LOM役員懇談会」を開催させて頂きました。これまでも例会とは別の事業として開催しておりましたLOM役員懇談会ではありますが、今年度はメンバー全員が参加対象である例会内に於いて行うことで、ご参加頂きました兵庫ブロック協議会との交流は勿論それ以上により深い友好関係を築き同じ兵庫のJ・a・y・c・e青年会議所会員として互いを高め合う機会を創ることができました。設営頂いた戸田委員長率います次世代育成委員会のメンバーをはじめ、本例会の中心として活躍頂いた各委員長、公室長、そしてLOM支援に多大なるご尽力を頂きました道廣、正明会長をはじめとします兵庫ブロック協議会役員訪問の皆様にも熱心に耳を傾けて頂きました。例会の2日後にも兵庫ブロック協議会より会頭公式訪問(意見交換会)の機会を、「提供頂き、西宮の地へ行って参りました。本年度、公益社団法人日本青年会議所(JCI)日本の会頭麻生将豊君はJCI日本が各地青年会議所の総合連絡調整機関であることの認識を高く持たれて、これまで以上にLOMを支援していく意識も強く、私たちLOMの課題にも熱心に耳を傾けて頂きました。また、広い見識を持ち多様な提案を頂くなど、私自身も大変学びの多い素晴らしい機会となりました。しっかりとLOMへ持ち帰り組織運営に活かして参ります。続く翌週は、3年ぶりとなる淡路青年会議所「飛躍する会」祝賀会を開催され、現役メンバーと共に参加させて頂きました。日本の青年会議所では会員期間を20歳~40歳までと定め、淡路青年会議所では男性の厄年にあたる昨年卒業されたメンバーの厄落とし、更なるご活躍を祝して飛躍する会が行われております。ご設営はその年の卒業メンバーを中心に参っており、今年度は58年会メンバーの皆様が企画運営されました。次年度は私たち59年会メンバーが中心となります。当会から学んだことをしっかりと活かして参ります。続いて3月に入り、対内外の事業も一旦落ち着き、メンバーの交流も月1回の例会という機会が増えます。そんな中で、3月5日の例会は小川委員長率います人財づくり委員会が主催の例会を開催いたしました。人財づくり委員会は主に会員拡大を担う委員会ですが、それ以上に志高くJCI淡路の人財となるメンバーを増強し力を入れ活動をして頂いております。3月例会にはシニアクラブより拡大講師として上田博和氏をお招きし、J・a・y・c・e熱のこもったお話を頂きました。また懇談会にもご出席され入会候補者へは私たち以上に熱心に声を掛けて頂きました。おかげもあり、当日6名の候補者の飯入会に繋がりました。上田氏には多大なるご協力を頂きましたこと、この場をお借りし感謝申し上げます。5月例会では、Eスポーツを大入る「HADO」というテクノスポーツでメンバーと候補者とともに汗を流し互いを知り合う機会を創って頂きました。人財づくり委員会は年3回の例会設置の機会がありますが、今年度に入り半年が過ぎる中、すでに残り1回となります。是非ともこれまでに沢山の志高い候補者も更なる親睦を深める中、すでに残り1回となります。是非ともこれ以上、続いて、4月末に開催しました第28回わんぱく相撲淡路場所は、青少年の健全な育成の一環として行っている継続事業で本年度で28回目となります。今回は各学年の取組みに加え、異学年での取組みも行い、子ども達の心身を鍛える大会へ繋げて頂きました。4~6年生男女の優勝者はこれからは兵庫大会、全国大会へと進みます。私たちも子ども達の一生懸命な姿にしっかりと応援できるよう応援を続けて参ります。そして、本年度メイン事業を担う高田委員長率います持続社会開発委員会に4月例会を設置して頂きました。また聞き馴染みのない「行政DX」をテーマにしましたが、これから三市行政も取組みをスタートさせる段階だからこそ官民がともに理解しあう場が必要で、それこそ行政DXとして進めてほしい思いから、行政DXの有り方人口減少少子高齢化による過疎化が進行している淡路島で、より多様化する人々の暮らしにも寄り添い手厚い行政サービスを提供するための手段として、淡路島3市行政職員の方々の皆様にもご参加頂き、自治体DXに関して第1線で活躍される菅原直敏氏に講演を頂きました。その結果、本誌最終ページにも告知しております通り7月9日(日)に「愛すべき淡路島の未来」新時代を捉え淡路島をひとつに「事業を開発いたします。デジタル庁大臣、河野太郎氏、同席で参進すべし。島民の暮らしと今後の最善化は何かを講演頂くとともに、パネルディスカッションでは淡路島内三市長にもご参加頂き、各市の持つ行政DX関連のビジョンや課題の共有とともに、淡路島が一体となって進むための起点となる事業にして参りますので、是非とも多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

結びとなりますが、近畿では梅雨入りも早く不安定な天候が続きます。皆様には充分お身体に気をつけて頂きますようお願い申し上げます。理事長雑感とさせていただきます。

Contents. 01. 理事長雑感 02.-03. 事業報告+特集記事 04. 事業告知+入会案内



JCI AWAJI Public relations magazine

FOCUS フォーカス 2023 Vol.2

2023年6月発行 発行元：一般社団法人淡路青年会議所

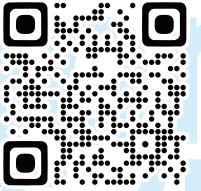
愛を 淡路島の 来

7.9 SUN

入場無料 定員500名 ※申込み多数の場合は抽選

洲本市文化体育館 [しばえもん座] 14:00開演

申込み登録はこちら▶ 締切 6月23日(金)迄



洲本市長 上崎 勝規氏 南あわじ市長 守本 憲弘氏 淡路市長 門 康彦氏

1. 基調講演 講師 河野 太郎氏 「デジタル社会の現状と今後の目指す姿」

2. パネルディスカッション

パネリスト / デジタル大臣 河野 太郎氏 コーディネーター / 伊藤 伸氏

洲 本 市 長 上崎 勝規氏
南あわじ市長 守本 憲弘氏
淡 路 市 長 門 康彦氏



デジタル大臣 河野太郎氏

構想日本 総括ディレクター / デジタル庁 参与 伊藤 伸氏

2023年度 入会案内 新入会員募集中

JCI Junior Chamber International Awaji 一般社団法人 淡路青年会議所

私たちと一緒に活動しませんか！ 明るい豊かな淡路島のために！

一般社団法人淡路青年会議所では、2023年度新入会員の募集を随時行っております。青年会議所(JCI)は、明るい豊かな社会の実現を理想とし、次代のリーダーとなる責任感を持った青年の団体です。そして、淡路青年会議所は創立以来「淡路はひとつ」を基本理念に淡路島のまちのため、また活動を通して得る自身の資質向上のため活動、運動を行っております。

本年度は、「機に勇ましく！～新たな可能性を生み出すために～」をスローガンに掲げ、青年会議所にある様々な機会に勇敢に挑み、変革の起点となる取組みを行ってまいります。自分にはないものを持った仲間たちとの時間を通して絆を深め、未来を見据えた意見交換を行いませんか。ぜひ青年会議所に入会して、私たちと共に「人が、地域がより良くなる」社会を目指していきましょう!!

入会資格

- 年齢は20歳～40歳までであること。
- 一般社団法人淡路青年会議所の目的に賛同されること。
- 一般社団法人淡路青年会議所資格規定に基づく選考に合格されること。

現在会員数

45名(男性40名/女性5名)

多様なメンバーが在籍中

入会のご案内

JCI淡路の紹介



FOCUS 4月例会

詳細はこちら

本年度の4月例会は持続社会開発委員会（主にまちづくりを担う委員会）が企画・設営を行ないました。淡路青年会議所は「淡路はひとつ」を基本理念に、淡路島における様々な分野の課題解決と明るい豊かな社会の実現を目指しまちづくりを行っています。



例会の様子

去る4月12日（水）、4月例会新時代意識改革講座「前例なき挑戦！DXで見えてくる地方行政の未来」を開催いたしました。

講演前に緊張感や危機感を煽るためのオープニングムービーを作成し、目まぐるしく変化するこの新時代をおどろおどろしく表現し、明転するとそこに講師の菅原様が登壇している、といった演出を施しました。菅原様の実に痛快で腑に落ちる講演の後の質疑応答では、行政職員の方々からも数多くの質問が上がりましたが、間超過となりましたが、淡路島の行政にとっても、確実に次の一歩に繋がったと確信しております。

持続社会開発委員会 委員長
高田 祥平

FOCUS 2月例会《LOM 役員懇談会》

詳細はこちら

LOM 役員懇談会とは兵庫県内 23 の各 LOM（青年会議所）から選出されたメンバーで構成する兵庫ブロック協議会の役員団と LOM による事業計画、運営基本方針について討論する会です。



兵庫ブロック役員団 議長・委員長とLOM 公室長 委員長の意見交換の様子

去る2月8日（水）、夢海遊淡路島にて「2月例会切磋商議LOM 役員懇談会」を開催いたしました。本例会では「青年会議所は何を目的に行うべきなのか」「JCI 運動を行う意義は何なのか」「兵庫ブロックの事業や活動はどういうものなのか」といった認識を深めることを目的に、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会道正明会長をはじめとする役員団をお招きし、例会においてLOM 役員懇談会を開催いたしました。本例会に向けて、兵庫ブロックへの質問や答弁を各委員長が共に考えることで理事長所信や各委員会の抱負に対する認識を深めると共に、兵庫ブロックの事業についてもメンバーで共有しました。その中で、メンバーは独特の緊張感の中、メンバーで考えた質問を様々な角度から質問に公室長・委員長が答弁の様子を見守りました。本例会を通して兵庫ブロック協議会から「JCI 淡路の活動」に対して全力で支援することという強いエールをいただき、JCI 淡路のメンバー一人ひとりが「自分たちの行っている全ての活動が『明るい豊かな淡路島』の実現に繋がる』ことをあらためて認識し、さらに深めることができました。最後に、本例会にご協力・ご参加いただいたメンバーの皆様に感謝申し上げます。報告とさせていただきます。ありがとうございました。

次世代育成委員会 委員長
戸田 敦大

FOCUS 第28回わんぱく相撲 淡路場所

詳細はこちら

わんぱく相撲は、日本国内200地区（主催青年会議所単位）で予選大会が行われ全国大会が開かれる、小学生対象で最大規模の相撲大会です。淡路青年会議所では淡路場所（予選大会）を主催し、今年度で28回目となります。



- ### 第28回わんぱく相撲淡路場所 結果
- （色）のわんぱく力士は兵庫大会への出場者です。
- 1年生（男女混合）** ※写真1.
優勝▶山中 一稀（大野小学校）
準優勝▶藤川 瑠央（南あわじ相撲道場）
3位▶永所 大誠（志筑小学校）
 - 2年生（男女混合）** ※写真2.
優勝▶伊東 富士丸（志筑小学校）
準優勝▶若口 弦士（南あわじ相撲道場）
3位▶山口 大陽（神代小学校）
 - 3年生（男女混合）** ※写真3.
優勝▶金一 矢万杜（阿万小学校）
準優勝▶谷口 晴南（榎列小学校）
3位▶内海 明継（北淡小学校）
 - 4年生（男子）** ※写真4.
優勝▶堤 暉龍（南あわじ相撲道場）
準優勝▶佐藤 桜樹（中田小学校）
3位▶高見 和玖（福良小学校）
 - 5年生（男子）** ※写真5.
優勝▶内海 怜依（北淡小学校）
準優勝▶廣内 彪人（榎列小学校）
3位▶濱田 航希（北淡小学校）
 - 5年生（女子）**
優勝▶林 心陽菜（学習小学校）
準優勝▶戸田 有咲（学習小学校）
3位▶八田 聖蘭（学習小学校）
 - 6年生（男子）** ※写真6.
優勝▶黒田 萩音（阿万小学校）
準優勝▶西 大雅（賀集小学校）

去る、4月23日（日）「第28回わんぱく相撲淡路場所」を淡路市立石屋小学校土俵にて開催いたしました。また、本大会では例年の学年別の取組みの他、「礼儀」「挑戦」を子ども達に学んでもらうべく、異学年同士で相撲を取る「異学年相撲」も開催いたしました。当日は淡路島内全域から61名が参加いただきました。数多くの取組み中には、負けて悔し泣きする子どもや、勝って誇らしげにする子ども、取組み前に緊張する子どもなど、ご参加いただいた子どもたちにとって貴重な思い出として、また、これからの成長に繋がる1日となつていけば幸いです。最後になりましたが、当日の運営にあたり多大なご協力をいただいた仲野会長をはじめとします淡路市相撲連盟様、並びに岸本会長をはじめとします南あわじ相撲連盟様、ご後援いただいた兵庫県淡路教育事務所様並びに淡路市教育委員会様、洲本市教育委員会様、南あわじ市教育委員会様に感謝申し上げます。

次世代育成委員会 委員長
戸田 敦大

FOCUS 会頭公式訪問

会頭公式訪問とは日本青年会議所会頭である麻生 将豊君が47ブロック協議会に訪問するという貴重な機会であり、日本青年会議所の方針とLOMの現状や考えについて広く意見を交換する会です。



集合写真

去る2月10日（金）、兵庫県下23LOM理事長並びに兵庫ブロック協議会役員と、大勢のオブザーバー参加の下、公益社団法人日本青年会議所麻生会頭との意見交換会が西宮の地に開催されました。「リーダー」としてあるべき姿や「会員拡大」について「メインテーマに議論され、麻生会頭からは「リーダー」として、どれだけ夢を描き周囲と語り合う姿勢を持つことが大切」ということを熱く語って頂き、青年会議所で教育の一環の名目で陥りがちな「考えさせる」という履違えについて「危惧されていました。また、「会員拡大」では青年会議所に多く共通することとして、「シニア（OB会員）」との関係を上手く構築できていない点がある」とし、半田青年会議所を例に挙げ、関係性が深くバックアップ体制が構築されていること、また量的な拡大は翌年多くの退会者を出してしまふことが全国的に起きています」とし、中期ビジョンの計画を立てた取組みの大切さを話されました。この会頭公式訪問を通じて、LOMの活動・運動の更なる発展に繋げてまいります。

FOCUS 飛躍する会

詳細はこちら

飛躍する会とは、前年度にJCI 淡路を卒業された前厄を迎える皆様の厄落としと今後のご健勝とご活躍を祈念しお祝をする会です。この度の飛躍する会はコロナ禍の影響もあり3年ぶりの開催となりました。



前年度卒業57年会の会員

「飛躍する会祝賀会」を2月13日にホテルニューアワジにて開催させていただきました。本年は58年生まれたメンバー中心となって設営する「飛躍する会」ですが、年々から会議を行い開催へ向けて協議や準備をしてまいりました。今年、3年ぶりの開催となりましたので、「飛躍する会」を経験したことのない58年メンバーもいましたし、開催にあたっての準備も、1週間前には準備が完了し、58年メンバー以外も、58年メンバーもご協力いただき、淡路青年会議所OB会の皆様にも多数ご参加いただきました。57年会の皆さまを盛大にお祝いすることができました。また、舞女流華連（まじよる）の皆さまも来て頂き阿波踊りを披露して頂くだけでも、58年会のメンバー全員が輪の中に参加し、多くの方が巻き込まれたこと、ご参加いただいた皆様にも感謝を深め、楽しいひと時を過ごすことができました。58年会のメンバーは、対しても来年度には同じようにお祝いしたいと思います。最後にありがとうございました。ご参加いただき、お言葉を賜った杉本OB会長をはじめ、OB会の皆様、設営等にご協力いただいたメンバーの皆様に感謝申し上げます。58年会の皆さまのさらなる飛躍を祈念いたします。報告とさせていただきます。ありがとうございました。

58年会一同

FOCUS 5月例会

詳細はこちら

本年度の5月例会は人財づくり委員会が例会の企画・設営を行ないました。例年この時期はスポーツを取り入れてメンバー同士の交流や結束を深めています。本年度は入会候補者も交えて、eスポーツを用いたスポーツ例会となりました。



eスポーツ【HADO】でメンバーがバトルする様子

去る5月10日（水）5月例会「次代と共に創る絆」を開催させていただきました。

本例会に置いては、初の試みとして洲本市にある「SBRICK」で開催させていただきました。会場を管理するまでに「ワークス」様にはさまざまな迷惑をおかけしたりもありませんでした。会場の配置などに置いては試行錯誤の連続で何とか開催させていただきました。また、通年とは違い「AR」を使用した「eスポーツ」での開催となり、ご協力頂いたHIS様にも本当にご尽力いただきました。ここにくるまで大変な事ばかりでしたが、メンバーの笑顔溢れる姿が開催できて、良かったと本当に感じました。

これも、委員会メンバーをはじめ、平松担当理事、事務のおかけであると、本当に感謝申し上げます。このチームワーク、結束力のみま今後の事業や例会にも邁進して参ります。本当にありがとうございました。

人財づくり委員会 委員長
小川 優一

FOCUS 3月例会

詳細はこちら

本年度の3月例会は人財づくり委員会（主に会員拡大を担う委員会）が企画・設営を行ないました。会員拡大活動に取り組むにあたりまずはメンバーの意識醸成を図るために、日本各地で拡大活動に貢献されている講師を招いての例会です。



講師：シニアクラブ上田 博和氏

去る3月8日（水）「3月例会」魅力あるLOMへの道しるべ」を開催させていただきました。3月例会では、シニアクラブから上田先輩をお招きし拡大活動の重要性、青年会議所の存在意義などをメンバーの方々に講演頂きました。会場設営に関しては洲本市文化体育館2階での開催となり、窮屈さもありましたが、機材の配置、椅子の並びなど上手いことできたのではないかと思います。これも一重に委員会メンバーをはじめ、平松担当理事、事務のおかけだと思っております。また、上田先輩にお越し頂く際に打ち合わせ等が秘書の方を通しての打ち合わせだったので伝えきれない部分や、先輩の経歴などがミスが生じてしまった点が苦勞でした。これも今後の淡路青年会議所活動の一つの糧とし、これからも邁進してまいります。

人財づくり委員会 委員長
小川 優一